

【日程】10:00 泊漁港駐車場集合(日程確認) →10:10 中山崎での植物観察 →11:10 弥次郎穴・滝の尻大滝・タタミ岩・ぼっとあげ周辺の植物観察 →12:00 現地解散



1 泊リアス海岸について

泊リアス海岸は、新生代新第三紀中新世の約1,660万年前から約1,500万年前までに起こった海底火山の堆積物で泊層と呼ばれている。中山崎の崖や海岸の岩場では、水中でマグマが噴出して形成された火山砕屑岩や枕状溶岩、縄目状溶岩や溶岩の貫入を見ることができる。



中山崎

枕状溶岩は、チューブ型の玄武岩質の溶岩で、チューブの中が空洞のものもある。外側が冷え固まり、中が流れ出てできる。急に冷えてできた放射状のひび割れである冷却節理も見られる。激しかった海底火山活動を観察できる。



海底火山の砕屑火山岩層



枕状溶岩



溶岩の貫入:柱状節理が見える



縄目状溶岩

2 泊地区で見られる植物たち



ベニバナセンブリ

ヨーロッパ原産(薬草・胃腸薬):
大正時代に観賞用として輸入。



ラセイタソウ

名の由来は、葉の手触りがラシャ
のようだから。海岸の乾燥から
身を守るための適応。



ミヤマビャクシン

高山や沿岸部の岩場などに自
生。雌雄異株。盆栽界では「真柏
(シンパク)」と呼ぶ。



エゾネギ(和)

チャイブ:シブレット(仏)、チポリー
ナ(伊)、アサツキやネギと同じ仲
間。β-カロテンやカルシウムが豊
富。



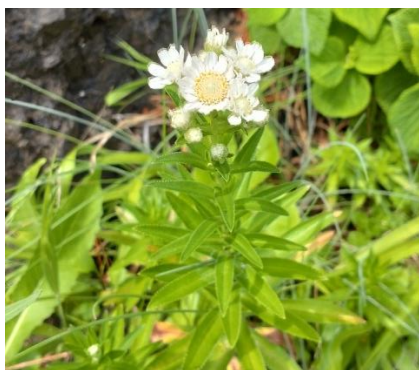
エゾカワラナデシコ

カワラナデシコの苞は3-4対
で、2対がエゾカワラナデシコ
の特徴。花卉の基部より、赤
茶色に毛が生えている。



エゾスカシユリ

草丈は約20(~90)cm、花は上
向きに咲き、花被片の根元が細
く、花の基部では奥が透けて見え
るので、この名がついた。



エゾノコギリソウ

海岸近くの草原に生える多年
草。高さ10-80cm、他のノコ
ギリソウの仲間のように櫛の
歯状には切れ込まない。



キタノコギリソウ

海岸の草地や砂地に生える多
年草。環境省レッドリストでは
絶滅危惧Ⅱ類(VU)だが、青
森県では個体数は多い。



ニッコウキスゲ

ゼンテイカ:別名ニッコウキスゲ
は、高山植物で、村の花。朝に開
花すると夕方にはしぼんでしま
うユリ科の「一日花」。



コウゾリナ(顔剃菜)

草全体に毛が生え、ひげから連想して名付けられた。ブタナは毛がなく茎に葉がない。



シュロソウ

山地の林内に生育する多年草。下部に黒褐色のシュロ毛がある。根茎は有毒。



クモキリソウ

葉は卵形で、茎の部分に2枚の葉が対生。側花弁は、虫の足に似る。別名アオグモ。



エゾアジサイ

北海道や本州の多雪地帯に分布。6月ごろ、青紫色の装飾花が美しい。別名ムツアジサイ。



マタタビ

猫に好まれる植物で山地に分布。夏に白い花が咲き、葉先が白くなる。鎮痛・疲労回復の薬用植物で、別名夏梅。



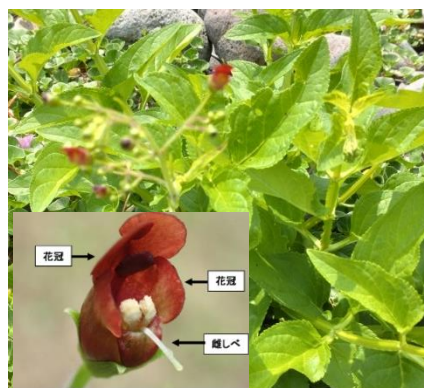
ノハナショウブ

花期は6月から7月、赤紫色の花びらの基部に黄色のすじが入る。水辺や湿原、湿った草原に自生。



ダイヤモンドソウ

夏に咲く5弁の花が「大」の字に似ることから名付けられた。山間のやや湿気のある崖地や岩場に生育。地方名イワブキ。



エゾヒナノウスツボ

高く伸びた花柄によく分岐して円錐花序を付け、横向きに沢山の花を付ける。花の名前の通り小さなつぼ型で、たつぷりと蜜を貯められる構造になっている。



コモチレンゲ

海岸の岩場に咲き、イワレンゲの変種で、函館、日高、礼文に生える。青森県では希少野生生物Cランク、準絶滅危惧に選出。秋に花茎が伸び、穂状に下から白い花が密生しながら咲く。

3 泊地区リアス式海岸線のジオサイトマップ



スカシユリ 6月~7月

(案内) 焼山大橋の下に駐車可。
①から⑥までは、約1kmのトレッキングコースです。



⑦物見崎灯台
(高山植物:ガンコウラン等)



⑥大穴洞窟(遺跡:コウモリ)



⑤白砂(ここだけ砂浜出現)



Q1:これらの奇岩は何に見えるかな?



③タタミ岩(安山岩:板状節理)



④ぼっとあげ(ぼっち:潮吹き穴)



②滝の尻大滝



①弥次郎穴(トトロの穴)

600m

焼山漁港



中山崎(砲台跡:枕状溶岩)



※国土地理院 HP より地図を一部作画引用